東京ケアウィーク’22 新型コロナウイルス感染拡大予防対策について

本展示会では、皆様に安心してご参加いただくため、政府・自治体・展示会業界・会場のガイドラインに則り、以下の新型コロナウイルス感染症対策を徹底してまいります。（開催時の状況に応じて変更する場合があります）
来場者の皆様におかれましても、ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

①ご来場前にご準備ください！ご来場の際は事前登録をお願いします

(1)以下のURLより来場事前登録ができます。
https://user.caretex.jp/rg-tokyo2022/user/entry
(2)登録時に**来場日を指定**してください。
(3)ご来場の際、**「来場事前登録受付証」**と**「名刺２枚」**をお持ちください。
ご登録いただいた来場日にご入場いただけます。

＊**「招待券」をお持ち**のご来場者は**当日ご登録・ご入場**いただけます。

※感染者発生時には感染経路特定などの理由により、最低限必要となる個人情報を政府機関・自治体からの依頼に基づき提出することがあります

②以下の症状がある方はご入場いただけません

- □**37.5度以上**の発熱があるとき
- □**咳・咽頭痛・息苦しさ**などの症状が認められるとき
- □保健所などの健康観察下にあるとき
- □その他、体調が優れないとき
  （**味覚・嗅覚異常**を感じるときや**疲労倦怠感を強く感じる**ときなどを含む）

③会場内では全参加者のマスク着用が必要です

マスクは鼻まで覆うようご注意ください。
感染予防効果の高い
不織布マスクのご着用を
お願いします。
（ウレタンマスク・布マスクは
感染予防効果が低いとされています）

④全入場者の検温を行います

施設入口にて非接触による体温測定を行います。
37.5度以上の発熱がある方はご入場いただけません。

⑤手洗い消毒液を設置します

入口・休憩所・セミナー会場などに
消毒液を設置しています。
ぜひご利用ください。

⑥密集・密接を防止します

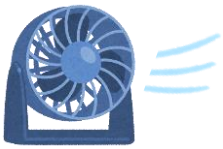
ソーシャルディスタンスを確保するため、ゆとりをもった会場づくりを行います。多数のご来場の場合には入場制限が行われる場合があります。

⑦共用スペースの消毒を徹底します

セミナー会場の座席、トイレ、
受付、休憩所など、
共用スペースの定期的な
消毒を行います。

⑧会場の換気を行います

会場の空調・換気設備の稼働および、定期的に会場のドアなどを開放し、換気を行います。



⑨厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のインストールをお願いします

感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができるスマートフォンアプリです。
末尾に厚生労働省のご案内を添付します。
事前にインストールをお願いいたします。

iPhoneの方はこちら
App Store からダウンロード

Androidの方はこちら
Google Play で手に入れよう

⑩展示会参加前後の「三つの密」及び飲食を回避するため、直行・直帰をお願いします

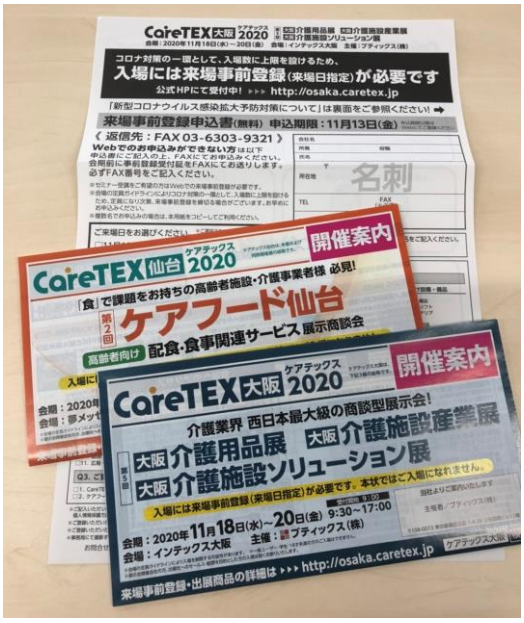
東京ケアウィーク’22は
新型コロナ感染予防対策を徹底し、
予定通り開催します。

ブティックス株式会社

次ページより、万全の対策を講じて無事開催した
全国のCareTEXにおける感染予防対策(※一部抜粋)
を掲載します。

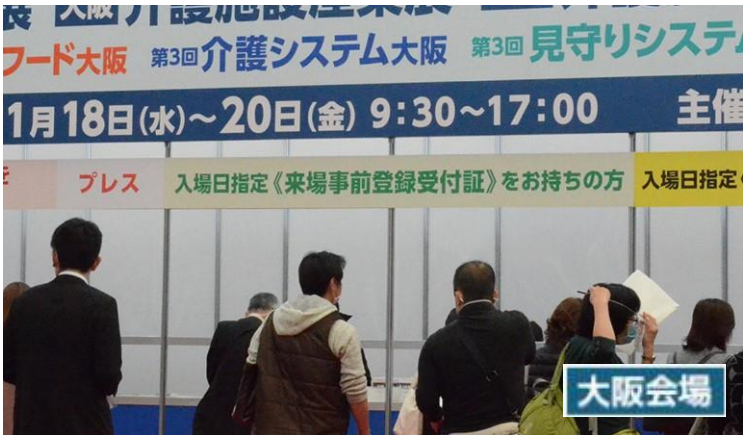
2020年：【9月】仙台　【11月】大阪
2021年：【1月】名古屋 【2月】福岡 【3月】東京 【5月】札幌
【9月】仙台、福岡 【10月】大阪

来場事前登録（来場日指定）の実施促進



来場事前登録を促す開催案内を送付

展示会場受付で指定ご来場日を確認



※「招待券」ご持参のご来場者は
当日ご登録・ご入場いただけます。

会場の収容人数コントロール
（会場内滞留人数を把握）

受付で来場者数をカウント

入場数（出展社・来場者・スタッフほか）は
「5000人以下」または「収容率50%以下」のいずれか多い方の人数を厳守

来場者受付には待機マーカーとアクリル板を設置

床面に待機位置をマーカー表示

受付の飛沫防止のアクリルパネル

複数個所に注意喚起の看板ならびに手洗い消毒液の設置

運営スタッフが手指消毒を声がけ

マスク着用必須などの注意喚起看板

入場口でのサーモカメラや非接触型体温計による測定

37.5度以上の方の入場お断り

「密」を避けるため、間隔を空けた休憩ベンチ

会場内休憩所のベンチに全て表示

セミナー講演台に飛沫防止のアクリル板設置

セミナー講演台のアクリル板

セミナーの間に随時、
アクリル板・マイクを消毒

「密」を避けるため、間隔を空けたセミナー席

「密」を避けるため、座席間隔を空けた
セミナーレイアウト

セミナーの間に随時、座席を消毒

会場内を常時換気

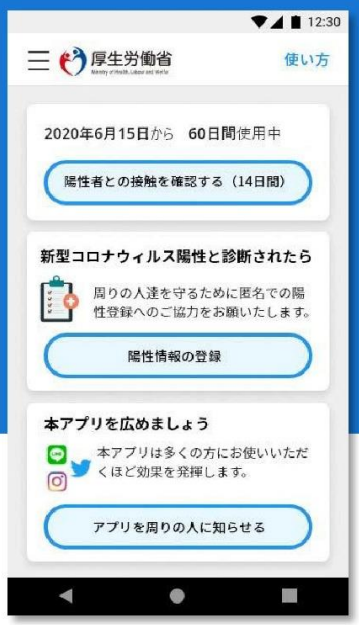
会場内空調に加え、搬入用シャッターを適時開放し換気

事務局スタッフはフェイスシールドを着用

事務局ならびに運営スタッフは
マスク＋フェイスシールド（orアイガード）
着用

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをおねがいします

自分をまもり、大切な人をまもり、地域と社会をまもるために、接触確認アプリをインストールしましょう。



＊画面イメージ

厚生労働省
新型コロナウイルス接触確認アプリ
（略称：COCOA）

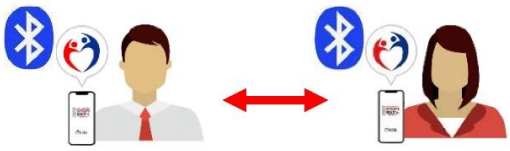
COVID-19 **Co**ntact **Co**nfirming **A**pplication

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです

○本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。

○利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性



・接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはでません
・どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません

※端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
※記録は14日経過後に無効となります
※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
※ブルートゥースをオフにすると情報を記録しません

iPhoneの方はこちら　App Store からダウンロード

Androidの方はこちら　Google Play で手に入れよう

詳しくはこちら　厚生労働省ウェブサイト

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

内閣官房　新型コロナウイルス感染症対策推進室
情報通信技術(IT)総合戦略室

イベント開催時のチェックリスト（1/4）

【東京都様式】

5,000人超かつ収容率50%超（緊急事態措置期間・まん延防止等重点措置期間は5,000人超）のイベント開催時には、「感染防止安全計画」の提出が必要です。

開 催 概 要		
イベント名	東京ケアウィーク'22	
開催案内ＵＲＬ（ある場合のみ）	http://caretex.jp/	
出演者・チーム等	出展企業430社 多数のため収まらない場合　→　別途、一覧を公表してください。	
開催日時	令和　4　年　3　月　9～11　日　9　時　30　分　～　17　時　0　分 複数回開催の場合　→　別途、開催する日時の一覧を公表してください。	
開催会場	東京ビッグサイト 南1・2・4ホール	
会場所在地	〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1	
主催者	ブティックス株式会社	
主催者　所在地	〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル11階	
主催者　連絡先	（電　話　番　号）　03-6303-9611（代表） （メールアドレス）　info@careweek.jp	
収容定員（いずれか選択）	◉ **収容定員あり** 10,000人	○ －
収容率（上限）（いずれか１つ選択）	◉ **（大声なし※１※２）収容定員の100%以内**	○ －
	○ **（大声あり※１）収容定員の50%以内**	○ －
参加人数	（3ホール×3日間で）12,000人予定	
大声なしと判断した理由や具体的な対策※２	（大声なしの場合のみ記載） ※商談型展示会イベントであること ※「マスク着用」「大声禁止」等を来場者に周知徹底	

※１　大声の定義:「観客等が、通常よりも大きな音量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当とすることと整理します。

※２　大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を「大声なしと判断した理由や具体的な対策」欄に記載してください。

イベント開催時のチェックリスト (2/4)

【東京都様式】

基本的な感染防止	**イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。プルダウンですべての項目にチェックを付けてください。** ※イベントの性質上、やむを得ずチェックを付けられない項目がある場合は、 P.4の「特記事項」欄にその理由を記入してください。

項目	チェック	必要な対策内容
①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底	✓	**【大声なしの場合】** **飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かな、できれば不織布)の正しい着用や大声(※)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。** （※）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。
		【大声ありの場合】 **「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。**
②手洗、手指・施設消毒の徹底	✓	**こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。）。**
	✓	**主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。**
③換気の徹底	✓	**法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（１時間に２回以上・１回に５分間以上等）の徹底。**
④来場者間の密集回避	✓	**入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。**
	✓	**休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。**
	✓	**大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保**

イベント開催時のチェックリスト (3/4)

【東京都様式】

基本的な感染防止	**イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。プルダウンですべての項目にチェックを付けてください。** ※イベントの性質上、やむを得ずチェックを付けられない項目がある場合は、 P.4の「特記事項」欄にその理由を記入してください。

項目	チェック	必要な対策内容
⑤飲食の制限	✓	飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。
	✓	飲食中以外のマスク着用の推奨。
	✓	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。
	✓	自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）。
⑥出演者等の感染対策	✓	有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
	✓	練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
	✓	出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。
⑦参加者の把握・管理等	✓	チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
	✓	入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
	✓	時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。

イベント開催時のチェックリスト (4/4)

【東京都様式】

特記事項	・イベントの性質上、やむを得ずチェックを付けられない項目がある場合（※）は、その理由を記入してください。 ・その他、特記事項があれば記入してください。 ※例１：屋外で開催するイベントのため、「③換気の徹底」は未チェック。 例２：イベント中の飲食を禁止しているため、「⑤飲食の制限」は未チェック。

【記入欄】